

第1回 認知症デイサービスセンター

運営推進会議 議事録

開催日時	令和8年7月29日（水） 11:30 ～ 12:00
開催場所	パストーン浅間台 1階会議室
サービス種類	地域密着型通所介護
参 加 者	上尾市役所高齢課 浅間台区長 地区民生委員 ケアプランTAMA 利用者 パストーン浅間台 施設長 米岡 光子 訪問提供責任者 相談員 瀧 初枝

登録者数 (7 月 日現在)	男性 4 名	女性 1 名	合計 5 名
-----------------------	-----------	-----------	-----------

要介護度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
	名	名	1 名	名	2 名	2 名	名

1. 次第

- (1) 開会
- (2) 出席者の自己紹介
- (3) 事業所の運営方針の報告
- (4) 活動状況、利用状況報告
- (5) ヒヤリ・ハット、事故、苦情報告
- (6) 意見交換、質疑応答
- (7) 閉会

2. 内容

運営方針

事業所の目標	利用者が、その有する能力に応じ、可能な限り自宅に於いて自立した日常生活を営むことができるよう介護サービスを提供する
目標に向けた具体的取組	利用者が安全に日常生活を続けられるよう落ち着いて過ごせる環境を調整し生活リズムの維持につながる支援を行う

活動報告

利用者状況

要介護3 90歳 男性 自宅での生活が困難になりつつあり、家族の負担が大きくなったため、3月から週3日、月・火・水曜日ショートステイを利用、それ以外の曜日は、他のデイケアを利用していたが、入所を視野にいたいと希望があり デイサービスを変更、7月から週3回、木・金・土曜日利用している

認知症が急激に進み、身の回りの物をポケットに入れたり、食べ物が載っている写真を見て食べようとする行為が見られたりと理解力の低下がある

歩行にふらつきがあるので安全面を考慮し杖や歩行器を試みるが、うまくなじまず使用することができないためそばで一緒に歩くようにしている

対応状況

歩くときにふらつきがあり転倒リスクが高いため、立ち上がり時やトイレ移動時は職員が必ず付き添い安全に歩くようにしている。

こちらの言っていることがわからなくて、帰りの送迎車からなかなか降りてくれない時があり、安心できる声掛けや家族様の顔を見せてもらうことで時間はかかるが降りることができている

課題

※ 杖、歩行器などの指示が理解力低下により使用できない状態のため転倒リスクが高いままである

※ 今後さらに認知機能が低下した場合、移動や入浴などの生活動作での事故の可能性が高くなる

ヒヤリ・ハット、事故、苦情報告

内容	① 入浴の際、一般浴で対応したが、湯船から上がりましようとして声をかけてもなかなか出てくるができなかった ようやく職員2人がかりで上がってもらえた ② 送迎車に乗ることはできても降りることができないことがあった
改善策	① 安全を確保するため次回から座って入る機械浴に変更し移乗時は2人体制を取るようにした ② 認知機能の低下により できないときがあるので必要時は車椅子対応を検討していきたい

意見交換、質疑応答

意見	認知症の方は、ここでどのように過ごしてるのでしょうか
質疑応答	他の利用者様と一緒に過ごせるのであれば職員がそばで対応できる体制で皆さんと同じフロアで体操やレクレーション活動に参加できるように支援していますがなかなか難しい時は、気分転換に施設内を歩いたり別の部屋で1対1での対応で安心して穏やかに過ごせるように心がけています

3. その他特記事項

高齢に伴う軽度の物忘れから認知症の進行による重度の症状まで、利用者の状態は多様化しており一人ひとりに合わせた関りが必要となっている。個別の声掛けや見守りが不可欠のため「職員が大変」という視点ではなく、利用者の安全を確保し質の高い支援を継続するために必要な職員体制を整えていくことが重要だと考えています

※ 公表方法 【 ホームページ ・ 事業所内掲示 ・ その他 】